

審議会等会議録

会議の名称	令和6年度第1回加須市水道事業運営審議会
開催日時	令和6年8月23日（金） 午前10時00分から午前11時15分まで（会議終了）
開催場所	加須市水道課（久下浄水場）2階会議室（加須市久下4丁目50番地1）
議長氏名	黒川 澄子 会長
出席委員	服部 勝良 副会長 齋藤 清 委員 竹村 弘 委員 荻野 秀俊 委員 鈴木 君恵 委員 針ヶ谷文英 委員 黒崎 嘉人 委員 織田 和仁 委員 金谷 穰 委員 黒田 茂子 委員 江田 昌子 委員 大杉 尚子 委員
欠席委員	石川 安則 委員 鎗田 和子 委員
会議次第	1 開会 2 委嘱 3 市長あいさつ 4 委員紹介 5 議事 （1）会長・副会長の選出について （2）「第2次加須市水道ビジョン」の進捗状況について 6 その他 （1）令和6年度の水道事業の取組みについて （2）「水道施設統廃合計画」の策定について （3）埼玉県水道用水供給事業の料金改定方針案について 7 閉会
会議資料の名称	資料1 第2次加須市水道ビジョン進捗状況 資料2 令和6年度の水道事業の取組み 資料3 水道施設統廃合計画の策定について 資料4 埼玉県水道用水供給事業の料金改定方針案について
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	上下水道部長 柿沼 順 参事兼水道課長 石川 達雄
事務局職員職・氏名	上下水道部長 柿沼 順 参事兼水道課長 石川 達雄 同課主幹 若山 貴博 同課主幹 田島 宜幸 同課主任 小野塚 遼
会議録の作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
【1 開会】	
事務局若山	1 開会
【2 委嘱】	
市 長	委嘱状交付
【3 市長あいさつ】	
市 長	(市長あいさつ)
【4 委員紹介】	
【5 議事(1) 会長及び副会長選出】	
市 長	会長が選任されるまでの間、臨時議長を務めさせていただく。 会長の選出に当たっては、「加須市水道事業運営審議会条例第5条第1項」の規定により、委員の互選により決定することとなっている。 どなたかご推薦いただきたい。
事務局石川	当審議会の前回会長を2年間務めていただいた、黒川委員にお願いしたい。
市 長	事務局から、引き続き黒川委員を会長にという案が示されたが、委員の方々いかがか。
委 員	【異議なし】
市 長	それでは黒川委員を当審議会の会長として決定する。
黒川会長	【挨拶】
市 長	会長決定につき、臨時議長の任を解かせていただく。
市 長	【公務により退席】
事務局若山	これからの議事については、「審議会条例第5条第2項」の規定に基づき、黒川会長に進行をお願いしたい。
黒川会長	それでは議長を務めさせていただく。 副会長の選出について、「審議会条例第5条第1項」の規定により、委員の互選により定めるとなっている。 どなたかご推薦いただきたい。
事務局石川	当審議会の前回副会長を2年間務めていただいた、服部委員にお願いしたい。
黒川会長	事務局から、引き続き服部委員を副会長にという案が示されたが、委員の方々いかがか。
委 員	【異議なし】
黒川会長	それでは服部委員を当審議会の副会長として決定する。

服部副会長	【挨拶】
【5 議事（2）「第2次加須市水道ビジョン」の進捗状況について】	
事務局石川	資料1「第2次加須市水道ビジョン」の進捗状況について説明
黒川会長	ただいまの説明について質疑はないか。
黒田委員	昨今の災害は規模が大きく、数も多い。加須市の浄水場は、冠水などの被害が無かったのか。
事務局石川	今年度については今のところ各浄水場で被害が出ていない。昨年度は、騎西と北川辺の浄水場で落雷により電源装置の設備故障が発生したが、装置の切り替えを行ったので支障は無かった。 浄水場の課題としては、老朽化の問題がある。市内8か所の浄水場のうち、更新済の施設は久下浄水場だけであるので、今後計画的に更新工事を実施する必要がある。
黒田委員	有収率が県平均を下回っている。この原因と今後の取り組みは。
事務局石川	原因としては、加須市は耐震性の低い石綿管が多く残っていると同時に、管路が老朽化している。また、市街化調整区域の家が少ない地域が多いことや、旧簡易水道の区域が残っている場所があり、漏水を発見することが難しい。 有収率向上のため、石綿管や簡易水道の早期解消を積極的に進めていく。
黒田委員	加須市は給水車が1台あるが、災害時はそれで足りるのか。
事務局石川	加圧式給水車は1台であるが、その他トラックに積載するタンクが各地域にある。 地震の際は、最初の数時間は飲み水といった本当に必要な水が必要となる。発災して数日後には、生活用水等が必要となるが、その頃には他方から様々な支援が来るような連携が取れている。
黒田委員	災害時の水の供給について安心できるような準備をお願いしたい。
黒川会長	他に質疑は無いようなので、次へ進む。
【6 その他】	
事務局	資料2「令和6年度の水道事業の取り組み」 資料3「水道施設統廃合計画の策定について」 資料4「埼玉県水道用水供給事業の料金改定方針案について」各資料を説明
金谷委員	統廃合計画は、人口減少に伴う給水量の減少に合わせて、適正な浄水場の配置を検討していただきたい。 県水料金の改定方針案については、県水料金の改正に伴い、加須市では1億6千万円のコスト増があるとのことだが収益的収支でカバーできるのか。コスト増を水道利用者にそのまま転嫁することがないよう、今後検討していただきたい。

事務局石川	他市の水道料金の改定状況としては、戸田市、羽生市、本庄市でも老朽化した水道施設を更新するために必要な費用を確保するため、水道料金の値上げを行っている。 現在のところ、今回の県水料金の改定に限った料金改定を実施する自治体の情報は無い。 県水料金の改定に伴い、本市の水道事業は大変厳しい状況になることが見込まれるが、本市の水道料金の見直しについては、市民の皆様への影響や他市の動向などを踏まえ、今後慎重に検討していく。
黒田委員	加須市の水道料金は高いのではないかな。
事務局石川	合併時の本市の水道料金は、旧加須市が高く、旧3町が安かった。 現行の料金体系は、平成24年度の見直し時に4地域の料金バランスや、将来的な収益と費用を想定して設定したものである。 加須市は、県内比較では高いほうだが全国比較ではほぼ中間である。他市の水道料金は、人口や面積規模のほか、算定方法などがそれぞれ異なるので、一律に比較をするのも難しい。 水道事業は、水道料金を原資として水道施設の耐震化などの災害対策も行っているのので、将来的な収支の見通しが重要となる。
織田委員	県内のなかでは、加須市の水道料金は高い方かなと思う。人口や面積等の条件は異なるが、できるだけ安価での提供をお願いしたい。
事務局石川	本市の水道料金体系は、水道管への設備投資の関係上、逓増制としており、水量が多い企業などは、水道使用量が多ければ多いほど料金が高くなる。一方で、水道使用量が少ない一般家庭は安くなる。 今後の料金改定が必要となる場合は、令和8年度に策定予定のアセットマネジメントに基づき、逓増制による料金体系も含めて、検討していく。
荻野委員	各地域のどこに何mm口径の水道管を入れるかは予め決まっているものなのか。最近、開発で家がたくさん建っているが対応できるものなのか。
事務局石川	水道管の配置は、ずっと同じではなく区画整理地内などは必要に応じて計画を立てて布設している。分譲住宅の開発は開発業者等が布設するが、水量不足による影響については問題ないと考えている。なお、水量に問題ないか、当課で確認をしている。
荻野委員	耐震性の低い石綿セメント管がかなり残っているとのことだが、どこに、どれくらい残っているのか確認できるのか。また、これは先行して更新していくのか。 東日本大震災の時は、加須市は大丈夫であったが、隣の久喜市の菖蒲地域は、水道管がかなり破損していた。
事務局石川	石綿セメント管は令和5年度末時点で約53km残っており、更新には多額の

	費用が必要となるので、今後は令和7年度に管路更新計画を策定し、計画的に実施していく。 また、水道管の埋設状況は、システムを活用しているので確認は可能である。
萩野委員	改修は、市街地からの方が良いと思う。
事務局石川	改修地域も含めて、優先順位を決めて計画的に改修していく。
黒川会長	他に質疑が無いようなので、本日の議事はこれで終了とする。
【7 閉会】	
事務局若山	以上を持ちまして、令和6年度第1回加須市水道事業運営審議会を閉会とさせていただきます。 本日はありがとうございました。
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和6年9月3日 署名 <u>黒川 澄子</u>	